

様似郷土館だより

— 2024年4月号 Vol.1 —

編集・発行：様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地 / TEL 0146-36-3335 / Mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

様似郷土館だよりは2009年～2012年まで月1で発行されていたA4の「おしらせ」です。新着資料、郷土館にまつわる話、展示会や体験会の報告を当時の郷土館学芸員の田中さんが発信していました。12年の時を経て今号より復活です。様似郷土館の近況や展示会、町内の魅力的な自然や歴史に関する情報を発信していきます！

展示内容は年々、改良しておりますので、ぜひ様似郷土館に遊びに来てください♪昆虫もいるよ～(学芸員 榎本尊)

「カン×カン講座ってどんな講座？」

展のお知らせ

【日 時】 4月10日(水)～17日(水) 9:00～17:00

※4月15日(月)は公民館の休館日

【場 所】 様似町中央公民館 1階 ギャラリー21

【内 容】 ・昨年度の実施講座の紹介

・今年度のカンカン講座の予定周知

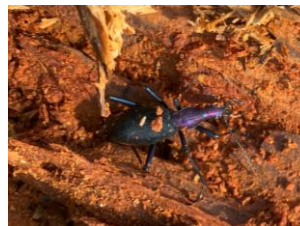
・過去人気作品紹介

カンカン講座は様似町のアポイ岳ジオパークビジターセンター、様似郷土館、町立様似図書館の3館が連携して、町民向けの講座を実施します。講演や工作から野外散策まで多岐にわたります。講座を通して様似の自然や歴史を体験しながら楽しく学びましょう♪

昆虫紹介

「マイマイカブリ」

マイマイカブリは貝食性の昆虫で、カタツムリ(マイマイ)を食べている様子から名前がつけました。沖縄を除く日本全国に広く分布し、8つの亜種(地域個体群)が知られています。地域によって色、大きさ、形に差異があり、北海道産の個体は頭胸部が美しい緑色をしています。触るとお酢のような物質を噴出します。町内にも広く生息します。



←
2024年3月11日
仙台市にて採集
コアオマイマイ

→
北海道産
エゾマイマイ



新着の寄贈資料 紹介

「番傘」



商店等では客に貸し出すための屋号や番号を書き入れていたため、「番」傘と呼ばれます。

カンカン講座「番傘のかざり作り」の参加者様からの寄贈品。登別で購入したほぼ新品。郷土館では2点目。

寄贈希望者はお気軽に様似郷土館までお電話ください。

2024年4月

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2	3	4	5	6
7	8 休館日	9	10	11	12	13
14	15 休館日	16	17	18	19	20
21 休館日	22 休館日	23	24	25	26	27
28	29 昭和の日	30 休館日				

10:00～16:30 開館 入館無料

来館者への展示解説、団体での見学、郷土館資料の体験会等も実施しておりますので、希望者は様似郷土館へお問い合わせください。

3/5 アポイカレッジ(自然)

「昆虫×デザイン～昆虫の魅力を伝えるデザインとは～」

【日 時】 3月5日(火) 19:00～20:00

【場 所】 様似町中央公民館 2階 小ホール

【講 師】 旭 夢紀(北海道オサムシ展示館 館長)

【内 容】

講師の旭さんは2023年に日高町に北海道オサムシ展示館を開館しました。本業のデザイナーとしてはBUGS-DESIGNを設立し昆虫の魅力を伝える名刺、インテリア、看板、雑誌等を制作し人気を博しています。

本講演ではデザイナーになるまでの歩み、デザイン制作のコツ、様似における伝わるデザイン例、道内のオサムシに関してたっぷりお話をさせていただきました。講演後には参加者からの質問も多く、デザイナー目線で語る昆虫の魅力を存分に学ぶことができました。



仏像調査

【調査報告】

【日 時】 2月27日(火)

【場 所】 等澗院

【調査員】 熊谷 麻美 北海道立近代美術館 学芸員

小田島 賢 厚岸町海事記念館 学芸員

榎本 尊 様似郷土館 学芸員

【内 容】

札幌の道立近代美術館の熊谷学芸員(お寺、仏像の専門家)によって、等澗院に収蔵されている馬頭観音像の外観撮影、各種形態測定、台座や像の材質の調査を実施しました。馬頭観音は宝冠に馬の頭部をもつ観音像で、馬の供養等に結びついて信仰されていました。馬の育成の盛んな日高地域の歴史や文化を理解する上でも重要な仏像となります。ご対応いただいた、等澗院の住職・副住職様により像の来歴等を解説していただき、貴重なお話を伺うこともできました。



昆虫標本の収集状況2023

【調査・研究報告】

2023年度は様似町内を中心に昆虫類を広く採集しました。現在標本作成が完了し、リスト化された標本総数は約1700個体になります。その中には日高初記録となる昆虫や採集の難しい稀種も複数含まれています。現在作成中の様似郷土館紀要5号で詳しい成果を公表予定です。町内では観音山や様似ダムや幌満峡周辺で採集をしましたが、良く晴れた日には市街地であっても興味深い昆虫が採集できています。日高地域は昆虫類の調査が不十分な地域であり、長年昆虫専門の学芸員が不在でした。町内に生息する昆虫の種数、希少な種の割合、生態等の基礎的な知見が不足しているため、町内の昆虫目録作成に向けて手広く継続的に調査を実施予定です。今後の調査では新たな発見も期待しております。去年は甲虫類を中心に収集したため、今年はハエ目やトンボ目にも力をいれていきます。

去年は「昆虫展」を3回開催し、町内の昆虫以外にも日本各地やマレーシア等で採集した昆虫類を展示しました。本年度も随時展示会を開催予定ですので、お楽しみに！また、カンカン講座では昆虫の観察会、標本教室も夏に実施予定です。



写真解説

町内の昆虫標本(左図)

昆虫展(中央2枚)

ライトトラップ(右図)